

年次報告書 2024

子どもたちの明日



年次報告書によせて

2023年度は、支援しておりました「村の幼稚園」全てを地域に移管し、カンボジアでの事業を無事終了することができました。3月に訪問した5ヶ所の村の幼稚園での保育者の活動への準備や手際よい進め方、子どもたちとのやりとりの中に、子どもたちの保育者への信頼や安心した様子を実感することができました。グループで数遊びに集中している子どもたちの姿に、もう大丈夫、自分たちでやっていけると確信しました。

そして2024年度は、会の集大成事業として「地域幼稚園の保育者のためのガイドブック」の制作が始まっています。保育を専門に学んだことのない地域幼稚園の保育者が理解しやすい説明と具体的な実践方法を例示します。2019年から会の事業に携わってきた元CYK保育アドバイザーと5州の幼児教育担当者のチームが内容を検討、執筆しています。カンボジアの子どもたちの将来のために幼児教育を充実させたいという強いおもいが伝わってきます。

思い起こせば、1981年に難民キャンプで当会が発行した「保育の手引き」は、国境を越えて生き延びた難民の人たちが、キャンプで働く保育者のために、カンボジア語で書きました。「子どもたち一人一人が国の支柱であり、子どもたち一人一人のこれからの運命すべてが、保育所と子どもたちの生きる社会の教育にゆだねられている」というはじめの言葉には、祖国の将来を担う子どもたちにかけた保育の仕事と教育への重い責任と覚悟を感じました。44年経った今、設立当初から会が目指してきた“自立”のかたちが見えてきました。

1980年に設立されました幼い難民を考える会の活動は、たくさんの皆様からのご理解とご協力をいただき、今日まで活動が続けてまいりました。長年、カンボジアの子どもたちの成長を支え、ご支援くださいました皆様には、心から深く感謝申し上げます。



関口 晴美

目次

年次報告書に寄せて・目次

2

2023 年度事業報告と 2024 年度事業計画

Ⅰ カンボジア事業

3

Ⅱ 日本国内事業

6

2023 年度 数字とグラフで見る 幼い難民を考える会

・2023 年度決算・監査報告書・2024 年度予算

7

・活動収支年度別推移表

9

幼い子どもと女性の自立のために当会を支えている人々と団体

・2023 年度 補助金受け入れ先、寄付者、みんなで布チョッキン実施団体

10

わたしたちの組織

・会員数、寄付者数、役員、職員、活動履歴

11

2023 年度事業報告と 2024 年度事業計画

Ⅰ カンボジア事業



1. カンボジア保育事業

1) 「村の幼稚園」の開設と運営

① 既存 7 園 年間を通し「村の幼稚園」に子どもたちが登園し、地域で手に入る食の安全に配慮した補助給食を保育者が用意して提供した。保育チームは州・郡の幼児教育担当や地区の「女性とこども」の事業担当者と一緒にクラスのモニタリングを実施した。「国際子どもの日」のイベントを開催し、子どもの権利、障害・貧困・虐待などの問題への対応が説明され、子どもと保護者がゲームを楽しんだ。支援最後の年となることから、全ての教室内に学習コーナーを整備した。11月には3年間の支援が終了したピアムポベッチ村とトロピエンプリン村が地域に移管され、1,248ドルの協力金が幼稚園管理委員会の代表に手渡された。2024年3月末で10ヶ所の「村の幼稚園」全てが地域に移管され、追加2,309ドルの協力金が幼稚園管理委員会の代表に手渡された。2023年度中は新規開設した3園を合わせて293名が就学前教育にアクセスし、89名が卒園した。



② **新規開設 3 園** 新たにコホロート村、カンダール村、トゥルボンロ村に「村の幼稚園」を開設した。9 月に園舎が完成し、子どもの登録を呼びかけた。開園に先立ち、7 月 25 日から 8 月 13 日にかけ保育者 3 名が CYK の事務所に滞在し、事前研修に参加した。同研修には保育者が変わった既存「村の幼稚園」の新しい保育者と他の地域幼稚園の保育者 4 名も参加し、教室の準備や飾り付け、記録や各種書類の作成方法、日課の立て方などの管理事務の他、月次カリキュラムの活用方法、10 科目の教え方、教材製作、5 歳児の卒業テストなどの保育技術、子どもの権利や地域幼稚園の役割、子どものニーズ、コミュニケーションスキルなどを学んだ。9 月下旬には各教室の準備を完了し 10 月に開園し、4 歳児と 5 歳児 100 名が通園を開始した。

③ **自主運営移行後 3 園** 3 月に自主運営に移行したコンボンバスロタボン村、トロピエンクロプー村、トクホート村の幼稚園を訪問し、運営がスムーズに行われていることを確認した。104 名が登録し、67 名が卒園した。幼稚園管理委員会の協力も継続されており、特にトクホート村では保護者が協力金を集めておやつを提供している。

④ **能力強化研修** 11 月 16 日から 25 日まで保育能力を高めるため、保育者 24 名が参加して 10 日間の集中研修を実施した。地域幼稚園の保育者の義務と責任、カリキュラムの使い方、月次・年次計画の書き方、日案の立て方、運動や算数、クメール語、科学、ゲーム、歌、詩、絵などの教え方を学んだ。全参加者は指導の実践練習を行い、中でも 5 歳児のテスト方法の理解が深まり、自信を持つことができた。



⑤ **保育者交流研修会** 10 月 9 日から 11 日には「村の幼稚園」の保育者 8 名が参加してカンポット州トゥクチョーク郡の地域幼稚園への訪問研修を実施した。幼稚園運営の好例から地元で調達できる材料で工夫した教材製作や教室の飾りつけ、関連する人たちとのコミュニケーションの取り方、幼稚園の持続運営のための資金集めなど具体的に学ぶ機会を得た。

⑥ **学習コーナー教材製作ワークショップ** 10 月 26 日から 30 日にかけ、元「村の幼稚園」を含めた地域幼稚園の保育者を対象に教室の学習コーナーに適したゲームや教材を作成するワークショップを開催した。クラス中や遊びの時間に子どもたちが自由に利用できる教材が全ての幼稚園に備えられた。

⑦ **外遊具の設置** コホロート村とクロサス・トゥメイ村にシーソーと滑り台を設置した。

⑧ **自主運営移行後と地域幼稚園スタンダード評価** 2023 年度はトロピエンボン村、ピampoベッチ村、トロピエンクロプー村の幼稚園が地域幼稚園スタンダードに認定され、保育者給与が教育省から直接支払われている。

2) 地域や、他の機関・ひとへの支援

① **「村の幼稚園」管理委員会の勉強会** 9 月 11 日から 15 日にかけ、「村の幼稚園」5 ヶ所の幼稚園管理委員 15 名を対象に勉強会を実施した。委員会の役割と責任、地域幼稚園のスタンダード認定取得に向けた評価方法やクラスを向上させるための年間計画の作り方を学んだ。勉強会終了後、一部の村では計画の実施に必要な資金集めを開始した。2 月 23 日と 24 日に支援中の「村の幼稚園」管理委員メンバーが集まり、一年間の活動内容を振り返った。2023 年度に実行できなかった計画については解決策を話し合い、2024 年度の計画に盛り込んだ。

② **保護者の収入向上機会提供** 保護者 37 名、保育者 2 名に布遊具縫製を依頼。ボール 10,074 個と人形 3,036 体の工賃を支払った。

③ **教育省への協力** 10 月 17 日から 23 日にかけて州と郡の幼児教育担当者を対象に教室内に設ける学習コーナーの教材製作研修を実施し、今後は彼らを通して他の公立幼稚園・地域幼稚園に学習コーナーを整備することが可能となった。

④ **教材・遊具の提供** 6 月には、地区からの要請を受け、地域幼稚園 4 園の子ども 103 名と小学校からの要請で地域幼稚園 40 園に対し、教材・ゲーム、布遊具を提供した。8 月には、事前研修に参加した地域幼稚園の保育者から希望があり、103 名の子どもに教材・ゲーム、布遊具を提供した。11 月には、地域幼稚園の保護者 24 名からの希望を受け、622 名の子どもに教材・ゲーム、布遊具を提供した。1 月と 2 月には、コンボンチャム州、コンボンスピー州、プラサート郡の幼児教育担当に協力し、翻訳絵本「はははのはなし」を含む教材、ゲーム、布遊具を 1,212 ヶ所の公立幼稚園、546 ヶ所の地域幼稚園に提供した。また、カンポット州の幼児教育担当に協力し、144 ヶ所の地域幼稚園に絵本、パズル、子音ポスター、ゲームと紙芝居を提供した。3 月には、地域 NGO ボンドコマーの要請で物語 10 種、子音パズルとポスター、ゲーム、布遊具などをシムリアップ、ラタナキリ、プルサート、プリアシアヌーク、カンポット、コッコン州の地域幼稚園に提供した。

2. 管理運営

1) 体制

プノンペン事務所では、フルタイムスタッフ4名、パートタイムスタッフ1名で事業を実施。
1月にカンボジアでの事業を終了することをスタッフに説明し、保育チームの3名は円滑に「村の幼稚園」が地域に移管できるよう3月末まで精力的に勤めた。3月29日にはコンポンチュナン州の幼児教区担当者も同席し、送別会を開催。

▶ II 国内事業

1. 資金確保のための活動

ニュースレター発送時、募金のチラシを同封し、支援をお願いした。2023年度の保育事業に対する助成金等9件(820千円)を申請し、6件(532千円)が決定した。

2. 広報その他の活動

- 1) ニュースレター「子どもたちの明日」137号(7月)、138号(11月)、139号(2024年3月)と2023年次報告書(6月)を発行した。また、カンボジアでの「村の幼稚園」等保育活動支援事業を2024年3月末で終了することをお知らせした。
- 2) 織物製品の展示販売、委託販売を実施し在庫のクリアランスに努めた。
カンボジア・フェスティバル(5月) 百観音明治寺献灯会(7月)、
蓼科フリーマーケット(8月)、事務所(9月)、みなと区民まつり(10月)、上野教会バザー(10月)、サクラモヒラ展示委託販売(10月、12月)
- 3) フォトジャーナリスト高橋智史さんから写真の提供を受け、2024年度カレンダーを製作、489部を販売した。
- 4) 幼い難民を考える会バザーグループのチャリティバザー、FSCの皆様によるチャリティコンサートや3年ぶりに開催されたカンターテ・ドミノによるクリスマスミサでの募金を通して、多くのご支援を頂戴した。
- 5) 2024年度には特別事業として以下の事業を実施する。
- ①地域幼稚園保育者向け手引書の作成と配布研修、②CYRが保有するピダンの国内展示会とそれらのカンボジア王立博物館への寄贈、③「村の幼稚園」事業を総括した冊子の制作・発行

3. ボランティア・インターンとの協力促進

定例「ボランティアデー」は開催せず、織物製品の販売支援、ホームページの「今月の一枚」の記事作成、年次報告書のレイアウト、ニュースレターの原稿確認や発送作業など、随時、ボランティアをお願いした。

4. 管理

- 1) 事務局運営は常勤2名(事務所1名、在宅勤務1名)で行った。
- 2) 経理の月次仕分けと寄附金受領証明書の発行をNPOサポートセンターに委託した。
- 3) 4回の定時理事会を開催し、事業の進捗や諸課題を検討し、対応を決定した。
第110回(2023年4月25日)、第111回(2023年7月18日)、
第112回(2023年10月24日)、第113回(2024年1月23日)

2023 年度 数字とグラフで見る 幼い難民を考える会

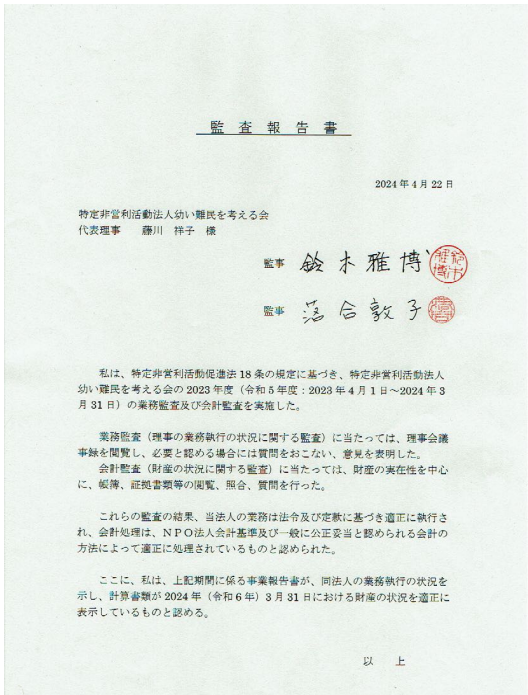
▶ 活動計算書(要約)

(自2023年4月1日至2024年3月31日)			(単位:千円)	
科目	2022 年度決算	2023 年度決算	増減	2024 年度予算
I 経常収支				
1 会費収入	1,430	1,000	△ 430	250
2 寄付収入	15,638	13,670	△ 1,968	5,489
3 事業収入	462	1,279	817	300
4 補助金収入	4,288	6,067	1,779	6,039
5 その他収入	1,006	-	△ 1,006	17,699
経常収益計	22,824	22,016	△ 808	23,738
II 経常費用				
1 事業費				
(1) 人件費	4,901	11,029	△ 6,128	6,391
(2) その他経費	5,816	13,208	△ 7,392	983
事業費計	10,717	24,237	△ 13,520	7,374
2 管理費				
(1) 人件費	10,831	8,719	△ 2,112	13,099
(2) その他経費	3,289	3,848	559	2,106
管理費計	14,120	12,567	△ 1,553	15,205
経常費用計	24,837	36,804	△ 11,967	22,579
当期経常増減額	△ 2,013	△ 14,788	△ 12,775	1,159
III 経常外収益				
1 その他収益	669	19	△ 651	
経常外収益計	669	19	△ 651	
IV 経常外費用				
1 固定資産除却損	-	-	-	-
2 その他費用	70	70		
経常外費用計	70	70		
当期正味財産増減額	△ 1,344	△ 14,770	△ 13,426	1,159

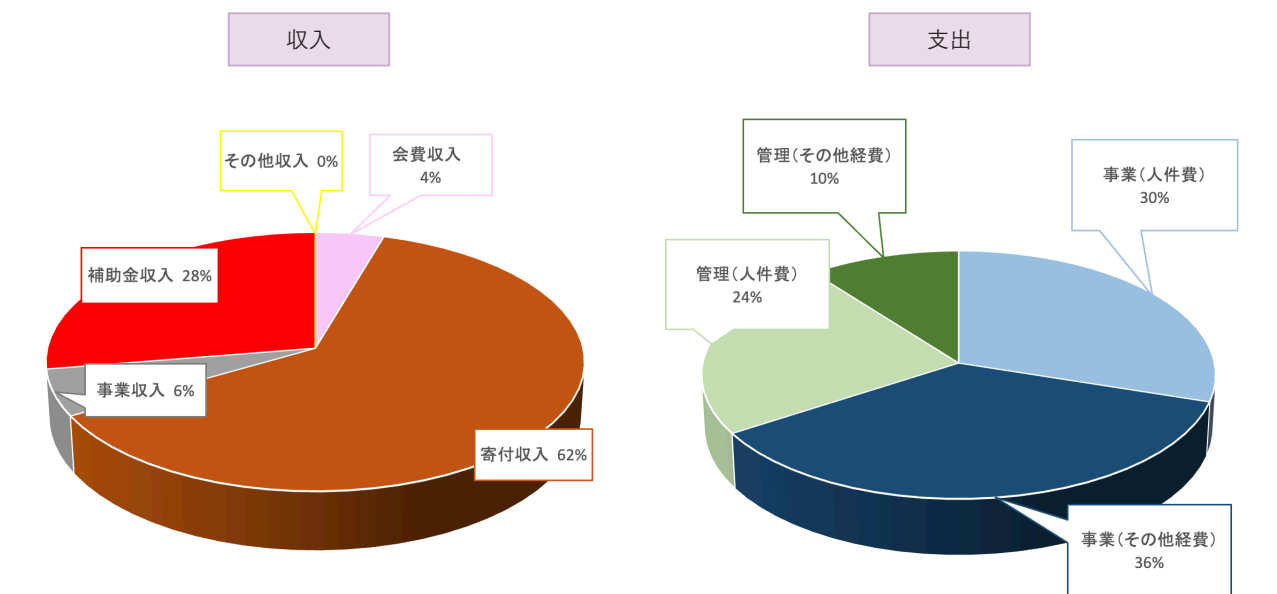
▶ 貸借対照表(要約)

2024 年 3 月 31 日現在		(単位:千円)
科目		
I 資産の部		
流動資産	17,877	
固定資産	110	
資産合計	17,987	
II 負債の部		
流動負債	538	
固定負債	4,939	
負債合計	5,477	
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	27,349	
当期正味財産増減額	14,839	
正味財産合計	12,510	
負債及び正味財産合計	17,987	

1. 会員数、会費納入ともに減少した。
2. 寄付金収入のうち、主に指定寄付が減少し、総額も減少した。
3. 東京の事業収入はカレンダー販売と織物在庫販売による。
4. 前年度比でみると、収入は808千円減、経費は11,967千円増、収支は12,775千円の赤字となったが、計画通り余剰金を事業に充当し予算通りの決算となった。



2023 年度 収入・費用の内訳



2023 年度事業部門別 活動計算書

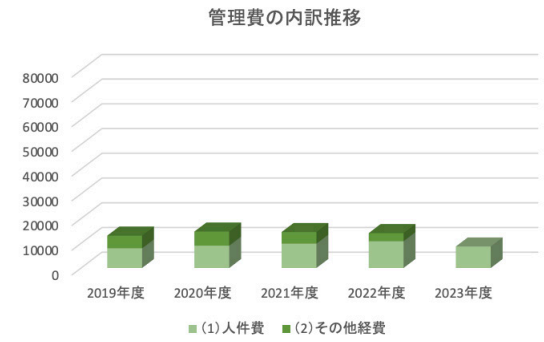
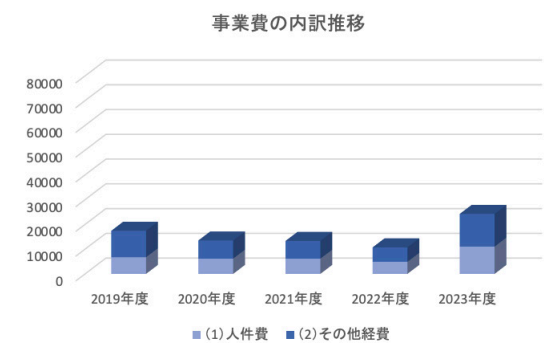
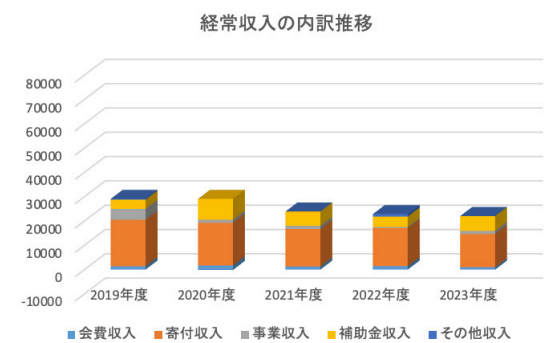
(自 2023 年 4 月 1 日 至 2024 年 3 月 31 日)						(単位：千円)	
科目	合計	カンボジア事業		国内事業			
		保育	管理	広報・事業	管理		
I 経常収益							
会費収入	1,000	0	0	0	1,000		
寄付収入	13,670	4,669	2,751	1,101	5,149		
事業収入	1,279	0	0	1,279	0		
補助金収入	6,067	6,067	0	0	0		
その他収入	0	0	0	0	0		
経常収益計	22,016	10,736	2,751	2,380	6,149		
II 経常費用							
人件費計	19,748	5,634	4,839	5,395	3,880		
その他の経費計	17,056	10,946	169	2,714	3,227		
経常費用計	36,804	16,580	5,008	8,109	7,107		
III. 経常外収益							
受取利息・外国為替換算差益	18						
経常外収益計	18						
当期正味財産増減額	△ 14,770						
前期繰越正味財産額	27,349						
次期繰越正味財産額	12,509						

2024 年度事業部門別 活動予算書

(自 2024 年 4 月 1 日 至 2025 年 3 月 31 日)						(単位：千円)	
科目	合計	カンボジア事業		国内事業			
		保育	基盤強化・管理	広報・事業	管理		
I 経常収益							
会費収入	250	0	0	0	250		
寄付収入	5,489	0	0	3,300	2,189		
事業収入	300	0	0	300	0		
補助金収入	0	0	0	0	0		
その他収入	6,039	0	0	3,600	2,439		
経常収益計	17,699	0	1,008	685	16,006		
II 経常費用	23,738	0	1,008	4,284	18,445		
人件費計							
その他の経費計	19,490	0	4,450	6,391	8,649		
経常費用計	3,089	0	629	983	1,477		
当期経常増減額	22,579	0	5,079	7,374	10,126		
当期正味財産増減額	1,159						
前期繰越正味財産額	1,159						
次期繰越正味財産額	14,934						

活動収支年度別推移表

(単位：千円)					
科目	2019 年度決算	2020 年度決算	2021 年度決算	2022 年度決算	2023 年度決算
I 経常収支					
1:会費収入	1,383	1,703	1,253	1,430	1,000
2:寄付収入	19,107	17,555	15,458	15,638	13,670
3:事業収入	4,505	1,249	1,301	462	1,279
4:補助金収入	3,770	8,601	5,881	4,288	6,067
5:その他収入	313	△ 102	0	1,006	-
経常収益計	29,078	29,006	23,894	22,824	22,016
II 経常費用					
1:事業費					
(1) 人件費	6,720	6,169	6,139	4,901	11,029
(2) その他経費	10,704	7,339	7,187	5,816	13,208
事業費計	17,425	13,508	13,326	10,717	24,237
2:管理費					
(1) 人件費	7,962	9,052	9,829	10,831	8,791
(2) その他経費	5,144	5,688	4,703	3,289	3,848
管理費計	13,107	14,740	14,532	14,120	12,567
経常費用計	30,533	28,248	27,858	24,837	36,804
当期経常増減額	△ 1,454	757	△ 3,964	△ 2,013	△ 14,788
III 経常外収益	△ 70	△ 1,459	1,409	669	19
当期正味財産増減額	△ 1,454	△ 769	△ 2,555	△ 1,344	△ 14,770
前期繰越正味財産額	33,701	32,176	31,406	28,781	27,349
次期繰越正味財産額	32,176	31,406	28,781	27,367	12,509



経常収入の内訳推移

会員や寄付者の減少により、過年度5年間の平均より会費収入が20%、寄付収入が10%減少している。

事業費の内訳推移

2020年度以降は事業経費が減少傾向にあったが、2023年度は余剰金を事業に活用した為、増加した。

管理費の内訳推移

人件費及び経費は減少で推移してきたが、2023年度はカンボジアでの退職金支払のため管理人件費が増加した。

幼い子どもと女性の自立のために当会を支えている人々と団体

(2023年4月 1 日～2024年3月31日入金分を記載しています)

2023 年度 補助金・助成金を通じてご支援いただいている企業・団体

- 名古屋駅地区振興会 ----- 1,360,000 円
- 一般財団法人ひろしま・祈りの石国際教育交流財団 ----- 1,240,000 円
- 日本労働組合総連合会 ----- 1,100,000 円
- 一般財団法人ゆうちょ財団 ----- 981,154 円
- 全日本自治体労働組合（自治労）福岡県本部 ----- 700,000 円

2023 年度 寄付者（10 万円以上の団体、あいうえお順）

NPO カムカムクメール

幼い難民を考える会チャリティ・バザーグループ

学校法人枝光学園 枝光会附属幼稚園

学校法人枝光学園 枝光学園幼稚園

株式会社一五不動産情報サービス

株式会社ビジネスパートナー

株式会社ビリダリッジ

かみひとねっとわーく京都

CANTATE DOMINO

キューピー株式会社

聖心女子大学同窓会宮代会

全国友の会

特定非営利活動法人 WE21 ジャパンみどり

丸紅株式会社

三菱商事株式会社

ライフティ株式会社

わたしたちの組織

会員数・寄付者数・役員・職員

会員数

内訳	2018 年 3 月末	2019 年 3 月末	2020 年 3 月末	2021 年 3 月末	2022 年 3 月末	2023 年 3 月末	2024 年 3 月末
個人	241	215	135	144	127	119	126
団体	7	8	7	6	6	8	7
学生	4	3	1	0	0	0	0
計	252	226	143	150	133	127	133

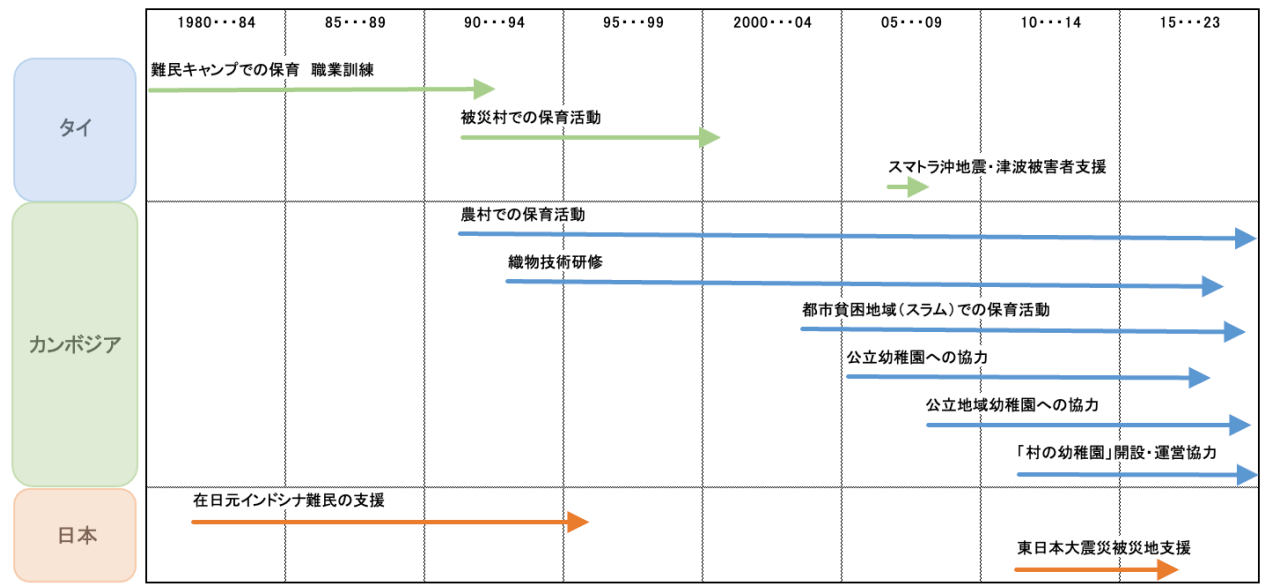
寄付者数

	2018 年 3 月末	2019 年 3 月末	2020 年 3 月末	2021 年 3 月末	2022 年 3 月末	2023 年 3 月末	2024 年 3 月末
計	438	441	442	393	393	342	376
個人	348	379	370	328	346	295	336
団体	90	62	72	65	47	47	40

役員

2024 年 3 月末現在		職員	
代表理事	藤川 祥子	東京事務局	： 2 名（事務局長 片山 美紀）
副代表理事	関口 晴美	プノンペン事務所	： 5 名（所長 チャン・スレイ）
理事	草野 榮雅		
理事	大垣 洋子	2024 年 4 月 1 日現在	
理事	諏訪井 セタリン	東京事務局	： 2 名（事務局長 片山 美紀）
監事	鈴木 雅博	プノンペン事務所	： 2 名（所長 チャン・スレイ）
監事	落合 敦子		

活動履歴



幼い難民を考える会の理念

幼い難民を考える会、その原点「カオイダン難民キャンプ」から44年。
掲げる「理念」は、私達の活動の根幹として変わることなく受け継がれている。

Children, Our Future

今日の子どもの幸せが、明日の平和な世界へつながります。

1980年、内戦により難民となったカンボジアの子どもたちがタイ国境の難民キャンプの恵まれない環境のなかで少しでも人間らしい環境と必要な配慮のもとで暮らせるようにとの願いから、幼い難民を考える会（CYR）の活動は始まりました。

難民キャンプ閉鎖後は、復興をめざすカンボジアの農村で子どもたちが安心して暮らせる環境づくりと女性の自立を支援する活動に取り組んでいます。

会の名前を「難民の子ども」ではなく「幼い難民」としたのは、子どもという独立した人格を尊重する立場から、子どもたちの成長が守られて初めて、祖国を逃れてきた人たちの、あるいは、その国の自立の問題に結びつくと考えたからです。

また、「考える会」としたのは、助けるという意識がしばしば相手の自立を侵したり、相手を管理する体制に陥りがちであることを認識し、難民問題をいろいろな側面から考えていきたいという会の基本姿勢に根ざしています。

私たちはこれからも、さまざまな理由により厳しい境遇に置かれている子どもたちの健全な成長を支援し、その保護者たちが人間らしい生活環境のもと自立できることをめざしてひとつひとつの小さな積み重ねを大切にしていきます。そのことが、難民を生み出さない、明日の大きな平和を創る力となることを、信じています。



■ プノンペン事務所（2024年8月末で閉鎖）

Borey Piphub Thmey Chhouk Va III
#55, St. 05, Prey Sala Village, Sangkat Kakab,
Khan Posen Chey P.O Box 12,
Phnom Penh, 12406, Cambodia
Email: info@cyk.org.kh
URL: www.caringforyoungkhmer

■ 東京事務局（2020年8月同ビル内で移転）

リモート勤務のため、来所は事前にご連絡ください。
〒110-0016
東京都台東区台東 1-12-11 青木ビル 3B
TEL: 03-6803-2015
Email: info@cyr.or.jp
URL: http://www.cyr.or.jp

会費のお振込み、活動へのご支援は、こちらまでお願いいたします。

郵便振替 00110 - 8 - 36227
三菱UFJ銀行 六本木支店（普通）1351747
特定非営利活動法人 幼い難民を考える会

* CYRは、認定NPO法人です。2024年12月15日までのご寄附は、寄付金控除の対象となります。

2023年度年次報告書 2024

発行日：2024年7月 発行者：関口 晴美

紙面レイアウト：松下 旦